

手歯止め割損! 03侵入で緊急停止!

鳥飼基地で、訓練中に留置電車が動いた!!

7月5日、鳥飼基地西電留線で運転士養成のための現車訓練中に、留置車両が手歯止めを割損し、「03」に侵入するという事故が発生しました。当日は管理者が現車訓練を実施、指導していたということです。また、当該車両は移動禁止合図旗掲出中であり、動くはずのない留置車両が起動してしまったのです。車両は緊急停止したものの、もし周囲で作業を行っていたら、あわや触車事故につながりかねない重大な事故です。

二日後、訓練を実施・担当した大阪第一運輸所・指導科は「事故発生! 機器取扱い不良事故、見習現車訓練中、訓練車両が起動し手歯止めを割損させる。機器を取り扱ったところ誤って力行回路が構成されてしまった」などの内容で所内掲示を掲出しました。

指導管理者のミス!? 詳細を明らかにせよ!!

ところが、「03侵入」のことは掲示にもなく、さらには社員には詳しい事故概況などの説明は一切していません。指導すべき管理者のミスに対して一切口を閉ざしています。

私たち社員が関係する事故であれば、電車運転中における「細かな事象」や「運転士の判断」については「機器取扱い不良だ!」「時系列等報告書を書け!」と詳細に報告させ、職場に掲出される掲示でも当該社員の過失のみが大きく問題にされます。そして、会社は乗務を外しての「日勤教育」によって「さらし者」のようにしています。

この間、社員に対して鳥飼基地の電留線にまで添乗と称して管理者が現れ、こと細かな「指摘」を行い、そのことがボーナスカットの理由としても活用されているです。

訓練中であれ「ミス」はあるかも知れませんが、しかし、「事故」の再発防止のためには、事実を明らかにすべきです。地本は、事故究明と再発防止のために、7月10日『申第53号』で会社に申し入れを行いました。

1. 事故を起こした車両ではどのような訓練が行われていたのか明らかにすること。
2. 歯止め割損、「03」侵入事故を起こした原因を明らかにすること。
3. 今回発生した事故の対策を明らかにすること。
4. 今回の事故発生は全て管理者の責任である。運転士はミスや事故でなく、ほんの些細なことでも厳しく管理者から叱責されるが、重大事故を発生させた管理者は問われないのか明らかにすること。
5. 些細なミスに対して乗務員に厳しく責任を追及し、叱責してきた管理者が重大事故を起こした。人間であるが故にミスに犯すことの証しである。今回の重大事故の教訓をいかし、今後は乗務員への責任追及の姿勢を改め原因究明とヒューマンエラーを前提とした事故防止対策とすること。

会社に申し
入れる!